生涯学び続ける教師を育てるために

和歌山大学教職大学院
初任者研修履修証明プログラム

初任者研修を通じて授業研究の活性化と学校組織の変革を目指します

主な特徴

訪問指導	月３回の大学教員による学校訪問指導（授業カンファレンス）
集合研修	教職大学院の講義を院生・初任者とともに大学にて受講
研修の継続	２年目は月１回の訪問指導と集中講義を受講
専修免許状	規定の条件を満たせば専修免許状の取得が可能

充実した学びの基盤

- 経験豊富／高度な専門性を持った教職大学院教員による充実した指導体制
- 「課題研究」の推進により、目的を持った学級経営・授業の工夫改善を意識
- 客観的な「初任者の成長」の可視化（授業評価シート、授業記録等による）

その他の特徴

- 休日や勤務後による教職大学院棟利用による自主勉強会の開催
- iPadを２年間貸与（大学アカウントの付与により各種情報サービスが利用可能。モバイル情報端末を活用した授業方法の研修も実施。）

初任者研修履修証明プログラム

訪問指導と大学院講義の受講

大学教員による訪問指導・校内研修（月３回・月曜日に実施）

月３回の訪問指導では初任者による授業と放課後のカンファレンスがおこなわれます。カンファレンスは、校内の多くの先生方が参加するため、学校全体の授業研究の活性化につながっています。初任者は、以下のサイクルを繰り返すことで、自己の課題を明確にしつつ、自らの成長を実感していきます。また、初任者の姿を見て、より一層の教材研究への意欲を向上させる先生方もいます。

事前検討 ＞ 教材研究 ＞ 指導案の作成 ＞ 板書計画・教具・ワークシート等の作成 ＞

初任者による授業

大学教員・院生・拠点校指導教員・校内指導員・管理職らによる合同参観

＞

授業カンファレンス

授業検討会＝放課後の授業カンファレンスは初任者教員だけではなく、学校全体の学びの場へ

＞ 自己課題を明確にして次回に挑む ＞

教職大学院講義の受講（初任者研修の集合研修にあたります）

初任者は1年目の木曜日（月１回程度）に、教職大学院の授業実践力向上コースの講義（「学校・学級経営Ⅰ／授業・教材研究Ⅰ～Ⅲ」）や集中講義等を院生らと一緒に受講します。理論と実践の往還を目指し、教育現場で即時に活かせる内容となっています。

読み聞かせ指導の場面

学内の模擬授業教室における「示範授業」

講義と演習形式を併用して自ら学ぶ指導体制

初年度＋2年目に規定の単位を取得（履修証明）

在職3年以上を経れば「専修免許状」を取得可
（教育職員免許法別表三による）

初任者研修履修証明プログラム

初任者の学びを支える数々のサポート体制

初任者をサポートとし、共に学び・成長していく教職大学院生

基本的には、教職大学院の院生（学部卒）が、週１日学校に常駐します。初任者の授業参観と放課後の授業カンファレンスの時間以外は、初任者の通常の授業のサポートをおこなったり、気になる児童生徒に付いて個別指導をおこないます。また、体育の実技指導や社会見学の引率補助など、様々な場面で学校・学習の支援をしながら、自ら学びます。

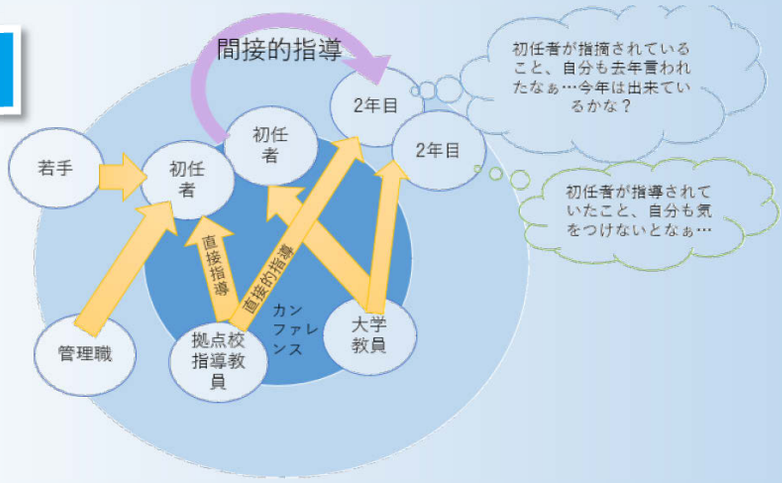
初任者（左右）と院生（真ん中）が共に学ぶ

授業カンファレンスの様子

※院生は、初任者と年齢が近い場合も多く、気楽に相談をしたりサポートをお願いすることができます。また、大学とのパイプ役・連絡役ともなります。

充実の講師陣・手厚い指導体制

複数の指導者から数々の指導方法を学ぶ



教職大学院教員による、最新の理論や実践に基づいた指導助言は、初任者だけではなく、各校内の若手教員や校内指導員・拠点校指導教員までもが学ぶべきことが多いとの評価を得ています。

上記のような初任者を取り巻く関係性の中で、さらに院生も加わり、日々の初任者を支えていきます。

これらの多くの関わりを活かし初任者・校内の若手教員・院生らが相互に学び合う場の構築

学び続ける教師・専門性を持った教師への素地を形成

初任者研修履修証明プログラム
お寄せいただいた声

初任者からの声：正直いうと大変だけど、その分、学びは大きい！

月曜日にカンファレンスがあるので、その週は指導されたことを意識して取り組め、次週にそれが改善されているかどうかを確認でき、そのサイクルが良かった。子ども対応や学習規律、学習環境を整えることも細かく指導いただいた。（初任者B）

理論的にはもちろん、実践的な深い学びも多い。また、今後の指導に役立つ資料もいただける。さらに、同じ課題を持つ初任の仲間と高め合っていくことができている。
（初任者A）

授業導入の工夫の大切さ、時間配分もしっかり考え、児童が学ぶ、思考する時間を多く持たなければならないことを学んだ。他にも発問から所作等の細かい課題まで意識することができた。
（初任者C）

初任者配属校の先生方より：初任者以外にも広がる学び

【学校長より】
研修する雰囲気を校内に醸し出すことができ、教員間の学ぶ姿が当たり前のようになってきています。初任者が毎週のように授業研修を受けている姿を見て、個々の教員が自分も真剣に授業づくりに取り組もうとしている。

【拠点校指導教員より】
カンファレンスに参加させていただくことで、大学の先生のお話を伺い、自分の気づかなかったことを教えていただいた。それを初任者に伝え見守ることで役立ったと思われる。毎週定期的に研修があることで、常に授業に対する意欲をもって取り組めるし、初心者の悩みなどを相談できる相手が複数いることもよかった。

【若手教員より】
カンファレンスに参加することで、学校全体として学ぶ意識が高くなっているように感じます。自分が初任の頃には知り得なかった知識が新たに身につく面もありました。

§当事業における詳細については以下にアクセス願います！

❑関係資料：和歌山大学学術レポジトリより
「雑誌一覧」から「教職大学院紀要」を選択（NO.1の特集論文に掲載）
http://repository.center.wakayama-u.ac.jp/list/f

❑ウェブサイトにて日々の活動ブログを更新！⇒
http://pde.edu.wakayama-u.ac.jp

お問い合わせ：和歌山大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）

TEL　事務局 073-457-7537 ／担当マネージャー　073-457-7541

住所　〒640-8510 和歌山市栄谷９３０　和歌山大学（教職大学院）

URL　http://pde.edu.center.wakayama-u.ac.jp

MAIL　pde-edu@center.wakayama-u.ac.jp

和歌山大学公式
マスコットキャラクター　わだにゃん